

第2部 基本構想

第1章 原村の将来像

第2章 基本理念

第3章 村づくりの目標

第4章 将来人口の目標

第5章 土地利用の構想

第1章 原村の将来像

将来像

「人と自然と文化が息づく 美しい村」

村民憲章

緑と光に つつまれた美しい郷土、ここに生きる私たち
原村民は先人の努力を受け継ぎ、豊かで活力ある高原都市
をめざしてこの憲章をかかげ、力強く前進します。

- (1) 勇敢に進歩にいどむ村民
- (2) 連帯を深め助け合う村民
- (3) 自然を愛し育ていく村民
- (4) 生活文化を創造する村民
- (5) お年寄りを敬愛する村民

第2章 基本理念

全国的に行われた「平成の大合併」では、合併の道ではなく自立による村づくりを選択しました。厳しい行財政のなかでも、医療・福祉分野の充実、移住・定住政策を展開してきました。

今後も厳しい財政運営が予想されるなか、本村が自立した村であり続けるためには、多くの経費のかかる施設を建設して住民サービスを向上させていくことは困難なことです。

現在ある「資源」、活用が不十分な施設、素晴らしい自然や文化であったり、埋もれている人材であったり、それらの持つ魅力にスポットを当てて、住民のいきいきとした活動で資源を結びつけ、連携させながら有効に活用して、夢のある村づくりを進める必要があります。

人口減少・少子高齢化社会に突入し、原村人口ビジョン※の独自推計によると一定の施策を実施しても、令和6年の人口は7,359人まで減少し、高齢化率は35%に拡大すると予想されます。

行政の収入は減少し、高齢者の扶養負担等社会費用負担が増大し、厳しい財政運営となり、住民への行政サービスの維持又は向上は難しいこととなります。

私たちは、先人から譲り受けた美しく住みやすい我が郷土原村が、さらに魅力あふれる村として引き続き発展していくよう、次のような4つの基本理念のもとで、住民の英知を結集して「持続可能な村づくり」を進めます。

【用語の説明】

※ 原村人口ビジョン…人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示したもの。「原村地域創生総合戦略」の基礎となるもの。



(4つの基本理念)

1. 人・環境にやさしいむら

本村は、八ヶ岳や北・南アルプス連峰の雄大な山並みを眺望できるすばらしい景観を有しています。しかしながら、時代の流れとともに農地や森林の面積が少しずつ減少してきています。

豊かで美しい自然に囲まれた村の環境や景観は、人々が暮らしていくうえでかけがえのない身近で貴重な財産です。この財産を守り育てながら有効に活用し、循環型社会^{※1}の形成や地球温暖化^{※2}防止に向けた村づくりが重要です。

また、八ヶ岳山麓の豊かな自然・文化と美しい村を守り、誇りが持てるよう「日本で最も美しい村」連合^{※3}に加盟しました。

この「日本で最も美しい村」ブランドを活用しながら、広く内外に発信して住民の定住、外からの移住や交流を深めて参ります。

そのため、住民参画のもとにアイデアを結集し、原村が持つ特色をしっかりと認識して最大限に活用し、原村らしく人・環境にやさしい村づくりを住民とともに取り組みます。

【用語の説明】

- ※1 循環型社会…ライフスタイルや経済活動を見直し、天然資源の消費が抑制され、環境負荷が低減された社会。
- ※2 地球温暖化…地球全体の年平均の気温が、長期的に上昇する現象。このことにより、気候が変動し乾燥化や砂漠化する地域が拡大する、動植物の生態系が変化し、種が絶滅する、海面の上昇により水没する地域が出るなど、地球規模の変動が引き起こされる。
- ※3 「日本で最も美しい村」連合…NPO法人「日本で最も美しい村」連合。「フランスの最も美しい村」運動に範をとり、失ったら二度と取り戻せない日本の農山漁村の景観・文化を守りつつ、最も美しい村としての自立を目指す活動をする団体のこと。

2. 皆が元気に安心して暮らせるむら ～しごと・子育て・教育環境の充実～

本村が独自に実施している全国でも有数な福祉・健康の村づくり政策により、高齢者就業率（65歳以上の高齢者が働いている率）は、全国、長野県でトップクラスであり、元気に長く働ける地域となっています。

また、若い人たちにとって地域で働き活躍し、安心して子育て・教育できる環境の充実を図ります。

豊かな人間性の創造を図りながら、住民一人ひとり、特に、高齢者や子どもたちが、はつらつと活動し、皆が日本一元気で安心して暮らせる村づくりを目指します。

3. 産業の連携による活力あるむら

本村は、高原野菜、花卉の一大産地であるうえに、60軒以上のペンション村や各種観光施設を有し、豊かな自然環境や美しい景観が注目を集めています。

また、古くから行われている裂き織(ぼろ機織)などの伝統工芸に加えて、近年は都市から移り住んだクラフトマン[※]や芸術家のみなさんも本村の誇る財産です。

これらの産業や施設、それらを支える人々は元気な村づくりにおける重要な“資源”(構成員)であり、様々な可能性をもっています。これらの本村の強みを最大限に生かし魅力の発掘・再生を行い、住民と行政によるいきいきとした協働の活動で結びつけてこそ、村の活性化への道が開かれます。

このような観点から、今後は、本村の伝統工芸と移住者の芸術・工芸等の技術・文化との交流を通じて、多面的な機能を持つ農業を主軸にしながら、森林などの資源と、観光や工業、商業、サービス業等様々な産業が関連・連携を深めながら観光農園、特産品加工、芸術・工芸等、住民主体の原村らしい新しい地域産業を形成し、経済活動が村内で循環して地域力を高めていく新しい「しくみ」をつくります。

【用語の説明】

※ クラフトマン… 伝統技術や工芸の技術を持った職人のこと。工芸家。

4. 住民が活躍できるむら

今までにない人口減少・少子高齢化や価値観・人生観・ライフスタイル^{※1}の多様化等に対応していかなければならない時代背景のなかで、住民に応える村づくりには様々な課題があります。

今までのような行政主体の村づくりではなく、住民一人ひとりが主体となって行政とともに行動する協働の活動が求められています。

自立の村づくりを決めた本村は「人と自然と文化が息づく 美しい村」の実現に向けて、住民と行政が協働し応分の役割・負担をしながら村づくりを進めなければならない時代となっています。

住民、地域団体、NPO^{※2}、ボランティア団体、事業者等が、村づくりの主役として自発的に行政と協働して、村づくりを推進します。

【用語の説明】

※1 ライフスタイル… 個人や集団の生き方、暮らし方。単なる生活様式ではなく、それぞれの考え方や信念に基づいたもの。

※2 NPO… 「NonProfit Organization」または「Not for Profit Organization」の略称で、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対して収益を分配することを目的としない団体の総称。

第3章 村づくりの目標

目標1

人と自然を大切にした美しく住みよい村づくり

[課題]

- 人と自然が共生する美しい環境を未来に
- 日本で最も美しく住みやすい村をつくる

目標2

人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり

[課題]

- 独自の文化の醸成と想像力豊かな子どもたちの育成
- 本村への若い人の流れの創出

目標3

健康としあわせを誇れる健康・福祉・子育ての村づくり

[課題]

- 人と人が助けあい、子どもからお年よりまでが安心して暮らせる福祉・健康の村
- 安心して結婚・出産・子育てできる環境の確保

目標4

産業振興による魅力・活力のある村づくり

[課題]

- 輝く村として誇れる「原村ブランド」の創出
- 原村の特性を活かした魅力ある就業・雇用機会の創出

目標5

皆が活躍できる持続可能な村づくり

[課題]

- 皆が活躍できる自立した村をつくる
- 持続可能な行政経営

1. 人と自然を大切にしたい美しく住みよい村づくり

課題

- 人と自然が共生する美しい環境を未来に
- 日本で最も美しく住みやすい村をつくる

本村には、緑と光の織りなす美しくかつ豊かな自然環境があり、そこに住む私たちにうるおいとやすらぎを与えてくれます。

この美しい村の環境が評価され、平成27年10月に「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。

そのような自然は、住民の社会的、経済的諸活動が営まれるかけがえのない生活の場でもあり、住みよい村づくりのための舞台でもあります。

したがって、安全で利便性が高く、より美しく快適な生活環境づくりを進めることで、住民生活の質の向上に努めるとともに、自然のもつ多様なエコロジー機能[※]の保全に留意しながら、原村ブランドの源である自然や景観が与える「心のやすらぎ」の価値を再認識し、原村が「原村らしく」特色を持ち続けるため、人と自然との調和を図った村づくりをすすめます。

また、防犯・防災体制を強化し、安心して暮らせる村づくりを目指します。

【用語の説明】

※ エコロジー機能…人間も生態系の一員であるとの視点から、人間生活と自然の調和・共存を目指す考え方、環境対策のこと。そうした仕組み、働きを整えること。

(1)すばらしい自然・景観・環境の保全と創出

(2)持続可能な「循環型社会」の創出

(3)地球温暖化防止対策

(4)水資源の確保・保全と上下水道の整備

(5)自然と調和した居住環境の整備

(6)人にやさしい道路・ネットワークの整備

(7)安心して暮らせる村づくり

2. 人と文化を育み、本村への若い人の流れをつくる村づくり

課題

- 独自の文化の醸成と想像力豊かな子どもたちの育成
- 本村への若い人の流れの創出

人づくりは村づくりの基本であります。学校教育とともに生涯学習の機会を充実させ、住民が必要に応じて自主的に学ぶことのできる環境づくりを進め、固有の文化を大切に、村に愛着と誇りを持てる人を育てる村づくりに取り組みます。

生涯学習の推進体制のなかでは、相談体制の充実、学習指導者の発掘・育成を図るとともに、海外との交流の機会や場づくりに努め、国際性のある地域づくりを推進します。こうしたなかで、生涯学習の実践として自治活動を支え、コミュニティ活動に発展させながら、自ら考え、自ら実行する人材の育成を図っていくことを目的とします。

また、住民の身近なところで気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション活動の多様な機会と場の整備、指導者・インストラクターなどの確保・育成に努めます。

村づくりの基本として「子どもたちの育成」に取り組むとともに、人口減少、少子高齢化に対応するため「本村への若い人の流れ」を創出する施策や体制の確保、整備を進めます。

性別による役割分担の考えなど、今なお様々な不平等をもたらしていますが、意識の変革に努め、互いに支えあい、いきいきと活躍できる男女共同参画社会の実現を目指します。

(1)生涯学習の体系化と機会の充実

(2)豊かな人間形成をめざした教育の推進

(3)芸術文化活動と地域文化の振興

(4)スポーツ・レクリエーション交流の推進

(5)交流による地域づくり

(6)男女共同参画の社会づくり

(7)本村への若い人の流れをつくる村づくり

3. 健康としあわせを誇れる健康・福祉・子育ての村づくり

課題

- 人と人が助けあい、子どもからお年よりまでが安心して暮らせる福祉・健康の村
- 安心して結婚・出産・子育てできる環境の確保

明るく健やかな生活、住民一人ひとりが明日への希望が持てる生活を営むことができる環境をつくることは、村づくりの基本的条件です。そのため、保健・医療サービスを充実していくとともに、村ぐるみの保健・健康づくりを推進しながら、社会的援護を必要とする人々に対して、実態に即した対策の充実や心温かい地域福祉活動を推進していくこととします。

特に、人口減少、少子高齢化社会の到来により、地域社会では様々な変革・改善を行っていく必要があります。

人口減少に対しては、持続可能な村づくりのため、若い人たちが定住・移住できるよう結婚・出産・子育ての福祉社会環境を形成していきます。

また、少子高齢化に対しては、各関係機関が連携し、結婚、妊娠、出産、子育ての切れ目ない支援を行います。また、高齢者自身が活動の主体者であるような環境条件を整えるとともに、住民がボランティアとして福祉の一翼を担う互助精神を持ち、自律的な福祉社会構築へ向けた住民一人ひとりの創意に満ちた主体的な取組みを促し、開拓・結実させる仕組みをつくり上げていきます。

(1)地域で支え合い健やかに生きる

(2)きめ細やかな高齢者福祉の推進

(3)障がい者の自立と社会参加の促進

(4)結婚・出産・子育てできる環境づくり

4. 産業振興による魅力・活力のある村づくり

課題

- 輝く村として誇れる「原村ブランド」の創出
- 原村の特性を活かした魅力ある就業・雇用機会の創出

本村の産業や施設は、活力ある村づくりにおける重要な資源であり、また、卓越した農業技術や機織等の伝統工芸に秀でた住民に加えて、近年は都市から移り住んだクラフトマンや芸術家等のみなさんも本村の誇る人的財産です。

これらの地域資源の連携と活用を図り、「原村ブランド」を創出していく必要があります。

農業では、後継者の育成や温暖化に柔軟に対応し、より付加価値の高い農産物の生産を支援し、さらに、6次産業化、地産地消の拡大を通じて観光、商業等他の産業との連携強化を図ります。

ペンション村をはじめとする宿泊業では、インバウンド^{※1}や利用ニーズへの対応支援に加え、シェアハウス^{※2}やサテライトオフィス^{※3}など他分野と連携した活性化を目指します。

村内の企業、工場が操業を続けられるよう支援を拡充するとともに、村の環境を活かした企業の誘致、住民の生活を支える商店の確保・維持を図ります。

本村は、若い人たちの流出が顕著な中、近年まで高齢者世代の移住による人口の社会増が人口維持の要素となって来ましたが、将来的には若い人たちの人口定着・増加がより求められています。

若い人たちが、移住・定住できるよう村内及び諏訪地域、八ヶ岳周辺地域での就業、雇用の場を確保し、人口減少、少子高齢化社会に対応した持続可能な村づくりが必要です。

このため、就業、雇用の場確保のためにも、諏訪地域、八ヶ岳周辺地域の連携による魅力づくり、雇用・就労支援や村内での起業を全面的に支援する体制づくりを図ります。

【用語の説明】

※1 インバウンド…外国人観光客を誘致すること。

※2 シェアハウス…ひとつの住居を複数人で共有すること。

※3 サテライトオフィス…企業または団体の本拠から離れた場所に設置されたオフィスのこと。

(1)原村の特色を生かした農林業振興

(2)観光を中心にした、各産業間の連携

(3)「原村ブランド」を活かした観光振興

(4)広域連携による観光振興

(5)工業振興と企業誘致

(6)商業・サービス業の振興

(7)雇用・勤労者対策の推進

5. 皆が活躍できる持続可能な村づくり

課題

- 皆が活躍できる自立した村をつくる
- 持続可能な行政経営

住民一人ひとりが、村づくりを担う意識を持ち、多様な村づくりに関わる仕組みづくりと、お互いに支え、助け合いながら地域コミュニティ活動を原動力として、子どもからお年よりが参加し、皆が活躍できる自立した村を目指します。

その実現をめざし、参加と協働による村づくり、地域コミュニティ活動の充実を担う人材の育成を図ります。

年々多様化・複雑化する住民ニーズに対して、迅速かつ効率的な行政運営が必要です。

また、地方分権の進展、地方創生の推進により、地方自治体には、地域経営に対するより一層の責任と創意工夫が求められています。

多様な職員や組織、税金などの経営資源を効率的・効果的に活用するとともに、新たな財源確保を図るなど、柔軟な行政経営とそれを支える財政基盤の確立に努めます。

【用語の説明】

- ※ 公民協働・・・行政と住民が協力して村づくりを進めていくこと。住民にできることは住民同士で取り組み住民だけではできないことを行政が協力し、その解決を図ること。

(1) 公民協働※の村づくりの推進

(2) 開かれた村政の推進

(3) 広域行政の推進

(4) 効率的な行政運営

(5) 健全な財政運営

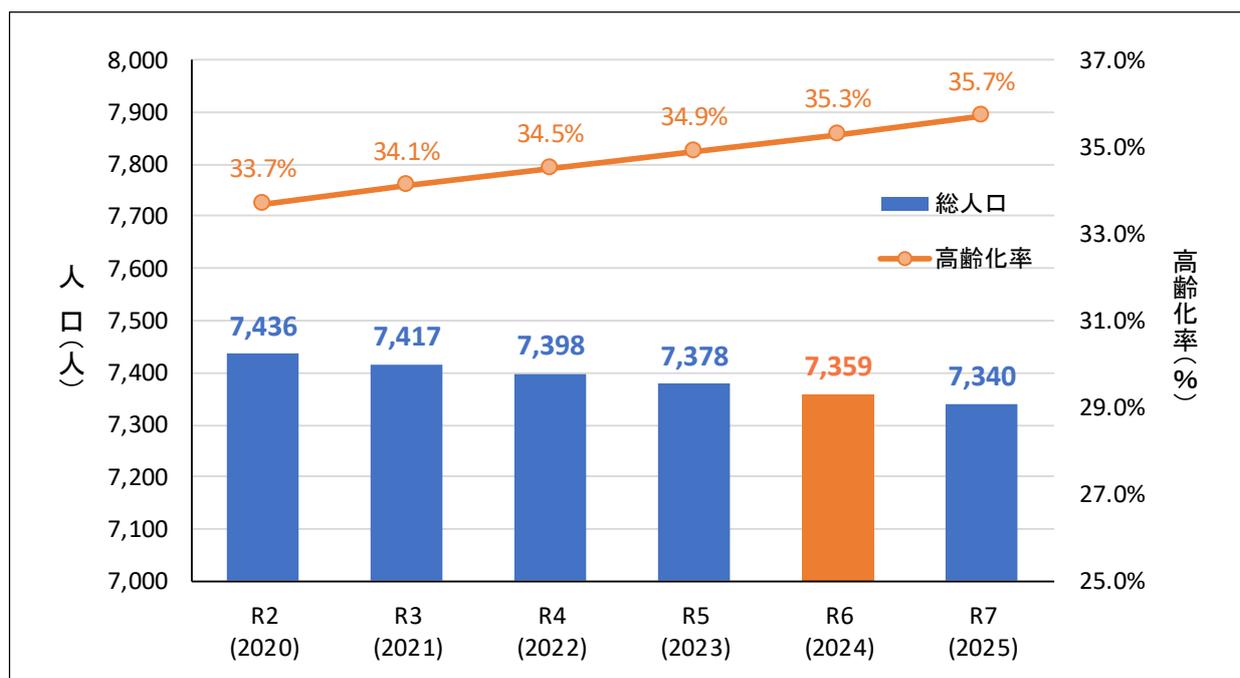
第4章 将来人口の目標

本村では、移住・定住施策や子育て・福祉施策の充実等に取り組んできました。これらの政策が実を結び、平成27年の国勢調査でも人口を維持するとともに、元気なお年よりが暮らす村となっています。

しかし、全国的には本格的な人口減少、少子高齢化の時代を迎えており、本村も今後は減少に転じていくと予想されます。

このような背景のもと、従来取り組んできた政策及び各種施策をブラッシュアップし、産業の活性化や子育て支援、特色のある教育、住環境の整備などの原村地域創生総合戦略を展開しながら、村の活性化、人口維持政策に取組み、若い人たちが夢や希望を叶えられる村づくりを進め、人口減少を抑え、令和6年の総人口7,359人を目指します。

【原村の将来人口推計】



原村人口ビジョンにおける独自推計値

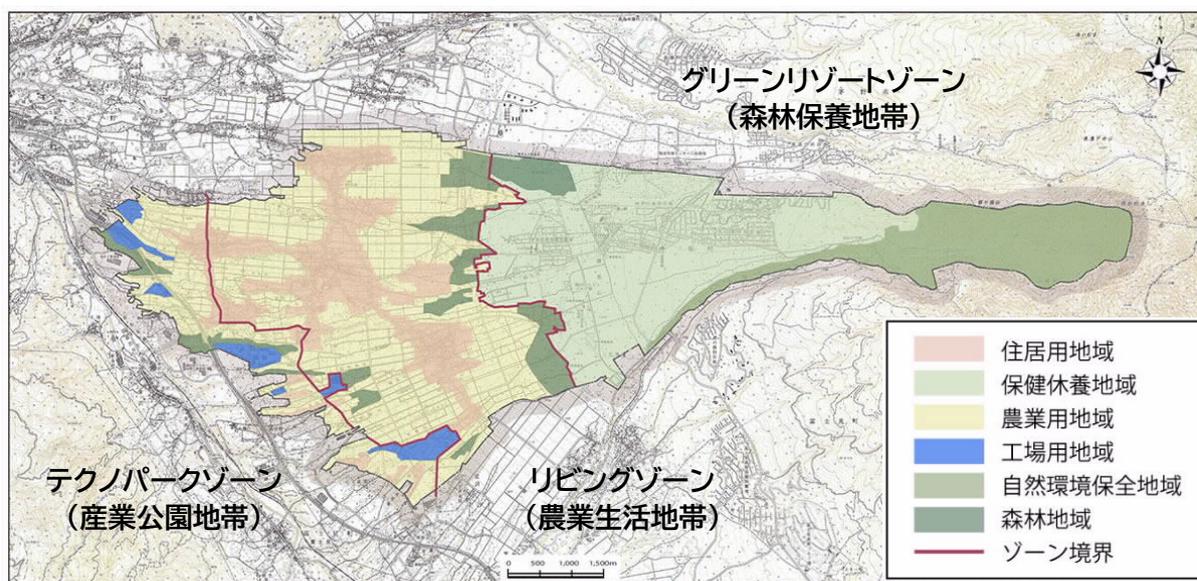
第5章 土地利用の構想

土地は、現在及び将来にわたる住民のための限られた資源であるとともに、生活及び産業の場を通じた共通の舞台です。

適正な土地利用は、これからの「原村ブランド」の村づくりのなかで骨格となるものであり、計画的な村づくりを進めるために重要な役割を果たすものであります。

公共の福祉を優先させ、緑と光の織りなす豊かな自然環境と美しい景観を守り、かつ、人と自然の調和の取れた発展をめざすため、土地利用を3つのゾーンに区分し、村づくりを進めます。

【土地利用構想図】



(1) グリーンリゾートゾーン(森林保養地帯)

八ヶ岳中信高原国定公園をはじめとする森林地域で、ペンション、別荘のほか、人々が自然のなかで快適に過ごし、自然の恵みを楽しむことができるよう、八ヶ岳自然文化園、もみの湯、八ヶ岳美術館等が配され、来訪者にも本村の魅力を伝えてきています。

今後とも、自然と調和した保健休養地として高原と自然のふれあいを楽しむことができるよう、環境保全を心がけながら森林の手入れや村民の森の整備等を行います。

(2) リビングゾーン(農業生活地帯)

農業地域と居住地域が混在し、生産と生活が一体となった土地利用が行われてきていることから、各集落の生活環境の改善を図りながら、農業振興地域内の農用地の保全に努めます。

新規住宅については、集落周辺への配慮を行うとともに、計画的に居住空間を整備します。

役場周辺を村のパブリックゾーン（核づくり地区）と位置づけ、住民の利便性向上や住民の諸活動の中心地としての役割を果たすことができるよう、公共施設の集積や商業・業務機能の充実を促進していく一方、村内外の交流の拠点づくりに努めます。

(3) テクノパークゾーン(産業公園地帯)

中央自動車道に近い村域西部をサービス業や工業等の産業が集積する労働生産地帯として位置づけ、周囲の豊かな自然環境と調和を保ちながら、産業が生きづく、クリーンな環境を備えた産業公園地帯を目指します。